

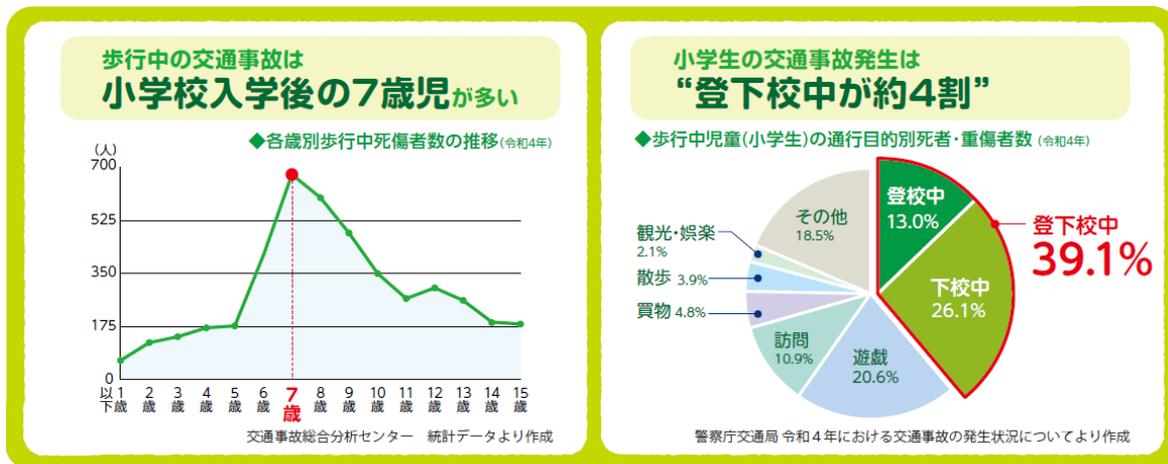
# News Release

入学に向けて、毎日歩く通学路の安全を親子で確かめよう！

## 未就学児・小学校低学年向け『つうがくろ あんぜんMAP』を作成 同MAPなどをダウンロードできる特設WEBサイトを2月22日(木)に公開！

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長柳井二三夫）では、未就学児や小学生（低学年）の登下校中における交通安全啓発を目的に、親子で楽しみながら通学路を確認する教材『つうがくろ あんぜんMAP』を作成しました。これに併せて、同MAPなどを無償でダウンロードいただける特設WEBサイト『一緒につくろう！つうがくろ あんぜんMAP～毎日歩く“通学路”の安全を確かめよう！～』を2月22日（木）に公開します。

（公財）交通事故総合分析センターの資料<sup>※1</sup>によると、歩行中の交通事故死傷者数は小学校入学後の7歳児が最多となっています。また、警察庁の調査<sup>※2</sup>では、小学生の交通事故は約4割が「登下校中」に発生していると報告しています。これらの背景には、小学校に入学すると、登下校や遊びなどの「ひとり行動」が増えることが要因として挙げられますが、「ひとり行動」が増える一方で、子どもたちの認知発達や知識が成熟していないため、交通事故に遭う可能性が高まります。



※1 公益財団法人交通事故総合分析センター「年齢別歩行中の交通事故死傷者数」

※2 警察庁交通局「令和4年における交通事故の発生状況について」

こうした現状を踏まえて、J A共済連では、親子で一緒に通学路の安全確認を行っていただくことの重要性をお伝えするため、特設WEBサイト『一緒につくろう！つうがくろ あんぜんMAP～毎日歩く“通学路”の安全を確かめよう！～』をJ A共済地域貢献活動WEBサイト「ちいきのきずな」内に開設します。同サイトでは、毎日歩く通学路について、注意すべき箇所や子どもの行動特性を踏まえた安全指導のポイントなどを具体的に解説しています。

さらに、通学路をイメージし、道路の安全な歩き方の基本ルールを遊びながら学べる「こうつうあんぜん1年生！すごろく」も作成。上記の特設WEBサイトから無償でダウンロードいただけるほか、(株)小学館とのコラボレーションにより、同社が発行する月刊誌『小学一年生』（4月号/2024年2月22日発売）の本誌に同すごろくや「1年生になったら♪じてん車にのるとき、気をつけよう！」を掲載します。

## ■ 特設WEBサイト

### 『一緒につくろう！つうがくろ あんぜんMAP～毎日歩く“通学路”の安全を確かめよう！～』概要

子どもたちが安全に通学するために、子どもの行動特性を踏まえた具体的な注意点や安全指導のポイントを掲載しています。また、実際の通学路から交通ルールを学び、体験する教材「つうがくろ あんぜんMAP」や道路の安全な歩き方の基本ルールを遊びながら学べる「こうつうあんぜん1年生！すごろく」等を無償でダウンロードいただけます。

○WEBサイト名：

『一緒につくろう！つうがくろ あんぜんMAP  
～毎日歩く“通学路”の安全を確かめよう！～』

○公開日：

2024年2月22日(木)

○サイトURL：

[https://social.ja-kyosai.or.jp/anzen\\_map/](https://social.ja-kyosai.or.jp/anzen_map/)



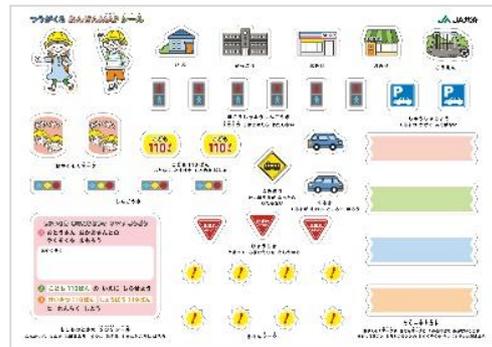
## ■ 交通安全教材『つうがくろ あんぜんMAP』概要

親子で「台紙」に家から学校までの通学路の地図を書き、道中に潜む危険な場所や注意すべき箇所などを「MAP作成用アイコン」を使って確認することができます。

加えて、当MAPの活用方法や確認すべきポイントを記した「作り方説明」（お子さま用/保護者用）もダウンロードすることができます。



台紙



MAP作成用アイコン



作り方説明（お子さま用）



作り方説明（保護者用）

## ■ 『こうつうあんぜん1年生! すごろく』 概要

通学路をイメージして、道路の安全な歩き方の基本ルールが遊びながら学べるすごろくです。特設WEBサイトより無償でダウンロードいただけます。



『こうつうあんぜん1年生! すごろく』

月刊誌『小学一年生』(小学館発行 4月号/2024年2月22日発売)でも、同すごろくや「1年生になったら♪じてん車にのるとき、気をつけよう!」を掲載しています。

また、保護者向け別冊付録『入学がわかる本 2024』および小学館子育てニュースサイト「HugKum」に、「新1年生の安全ひとり歩きデビュー!」などの記事も掲載しています。

J A共済連では、引き続き、安心・安全な地域社会づくりを目指して、様々な機会を通じて交通安全啓発活動に取り組んでまいります。

以上